

甲斐市教育委員会第8回定例会議事録

- 1 日 時 平成30年11月30日（金）午後1時30分
- 2 場 所 甲斐市役所 新館2階 教育委員会会議室
- 3 開 会 午後1時30分
- 4 出席者 【教育長】 生山勝教育長
【委 員】 柳本博美職務代理者 中込正久委員
長田明美委員 新海宏子委員
【説明員】 三澤宏教育部長 加藤文雄教育総務課長
内藤和彦学校教育課長 土屋達巳生涯学習文化課長
梅原剛スポーツ振興課長 保坂和也図書館長
小山田拓也彦学校教育指導監 早川英彦学事係長
- 5 傍聴人 なし
- 6 事務局 名取藤吾教育総務係長 柴崎唯教育総務係員
- 7 前回議事録の承認 平成30年度 第7回定例会議事録 「承認」
- 8 教育長からの報告
- 9 現場視察
 - (1) 敷島小学校大規模改修工事（2工区）
 - (2) 敷島総合文化会館大ホール天井耐震工事
- 10 議 題
 - 第1号 平成30年度要保護・準要保護、児童・生徒の認定について
- 11 その他
 - (1) 第55回山梨県一周駅伝競走大会について
 - (2) 12月の行事予定について
- 12 閉 会 午後4時

○開 会

事務局 開会を宣する。

○あいさつ

委員

こんにちは。

現在、大きく報道されています日産のゴーン氏の報酬の多さ・誤記載についてと、中国人が遺伝子操作によって子どもを誕生させた件について、「かきかえ」をキーワードとしてお話ししたいと思います。

1つ目の日産・ルノー・三菱につきましては、日本の文化とは全く異なる経営者の報酬の仕組みであり、日本では収益を上げれば社員に還元していくという方式を多くの会社がとっているため、トップが多くの報酬を貰うことはあまり我が国では根付かないものです。

ゴーン氏は財産・資産を私的なものにしていた疑いもあるようで、やはりトップとしてはV字回復させた功績は大きいけれども、リスクの方が大きかったのではないのでしょうか。こういった部分が日本の文化に馴染まないため、受け入れられず、逮捕されてしまいました。そしてその後の経過では、この問題はまだ解決には至っておりません。

しかし、企業としては先へ進んでいかなければなりませんので、社員も不安を抱えており、大きな社会問題となっています。

2つ目の遺伝子操作に関しては、植物や動物には行われてきましたが、まだ人間に対しては行われていませんでした。普通の魚の筋肉量を増やし大きくさせることで、食べる部分が多くなるので食糧難には良いと言われ、遺伝子の組み換えをしている所がたくさんあるようです。

しかし、人に対して行うことは、科学者の間では倫理的な理由で手を付けないということになっているようです。今回のように行われていた研究が表に出てくると、スポーツ選手は筋肉量を増やして頑丈な体を遺伝子操作で作ってしまえそうですし、そうすると練習量よりも科学の力で競う形になってしまいます。

才能豊かな子どもたちを育てるには、今までは地道な努力や日々の実践で培われてきたものが、遺伝子操作をすれば科学のメスによって一気に身につけてしまいます。こういったことは、今後子どもたちにどのような影響を及ぼすのか計り知れないところがあり、不安を抱いてしまいます。道徳的なことや倫理的なことで人間としての生き方を大きく左右する問題だと思います。以上の2つの話題には非常に寂しい心を持ってしまいます。

以前新聞で「甲斐市で寺子屋を」という記事が掲載されまして、とても心が和みました。寂しさと温かさで非常にギャップを抱えながら今日

を迎えました。以上、簡単ですが私のあいさつと代えさせていただきます。

○教育長報告

教育長

今月もお忙しいところ、ご参会いただきまして有難うございます。

それでは、11月の諸報告をさせていただきます。1ページをご参照いただきたいと思えます。主なものにつきましてご報告申し上げます。

まず、1日の午前には、甲斐市建築家協会様から市内の各小中学校に図書の寄贈がありました。平成28年度より毎年、寄贈して頂き、各学校の司書も感謝しています。

午後からは、本年度の第1回となる市長主催の甲斐市総合教育会議が開催されました。

案件としては、本年度から本格稼働した小中学校のエアコンの利用状況、評価、問題点などを協議しました。また、漢字ハンカチ配布事業、教材の公費支援、学校訪問を終えての課題等について意見交換を行い、充実した会議となりました。

2日の午前には、敷島小学校で「やはたいぬくん 子どもあいさつ運動 ～字を覚えようキャンペーン～」を行い、やはたいぬ君と漢字のクイズなどを行い、ふれあいました。やはたいぬくんは11校の小学校で一番難しい漢字の「敷小」を筆で書きました。

2日の午後と5日の午後は、教頭人事評価の能力評価の面談を1人あたり25分かけて行いました。教頭先生の学校経営に対する考え方等を聞く中で、教育長としての思いも伝えました。

夜は、来年の2月24日に行われる第15回甲斐梅の里クロスカントリー大会の第1回実行委員会に出席しました。大会の実施要項、大会役員、実行委員役職などについて話し合わせ、すべて承認されました。

3日の午前には、甲斐市文化協会文化祭に参加しました。開会式の後、オープニングとして、甲斐市生き甲斐音頭を市長、議長とみんなと一緒に踊り、大正琴、舞踊、フラダンス、詩吟、朗読など色々な団体が日ごろの成果を発表していました。また、敷島総合文化会館の会場いっぱいに飾られた生け花、手芸、絵画、写真、篆刻てんこくのほか、競技部門や実技部門などたくさんの催しや素晴らしい展示物に驚きました。やはり文化祭は生涯学習の一環だと思えました。

6日には、B&G財団全国教育長会議に出席しました。B&G財団の補助を頂いて設置している全国の自治体から多くの教育長が参加し、山梨県

からは甲斐市、南アルプス市、山梨市、中央市が参加しました。国会議事堂前で地下鉄有楽町線を降りましたが、国会が開会していることから警察官がたくさん警備にあたっていました。会議では先進地の事例発表として東京都荒川区南千住第二中学校の斎藤校長先生より「地域防災を担うレスキュー部」の先進的な取り組み事例が発表されました。

8日の午前には、市民グラウンドゴルフ大会開会式に、市長、体協の会長と出席しました。会場の赤坂台総合公園には、400人もの選手のみなさんが集まり、改めてグラウンドゴルフの競技人口の多さを実感しました。

午後には、甲斐市いじめ防止連携会議が開催され、12名の委員のうち新たに6名の委員を委嘱させていただきました。会長には山梨大学名誉教授と放送大学教授の進藤聡彦先生が就任され、協議事項としていじめ防止対策推進法に基づく甲斐市のいじめ問題に係る方針等を協議しました。北杜市で起こったいじめの対応と第三者委員会の委員をめぐる問題などがあったことから真剣に活発な議論が行われました。その後、甲府地方法務局など関係6機関で状況報告を行いました。

9日の午前には、甲府地区消防本部主催による管内の幼年女性消防大会が開催され、市内からは竜王幼稚園の園児が出演し、見事な演技を披露しました。

14日の午前は敷島南小学校、16日の午前は玉幡小学校でそれぞれ子どもあいさつ運動を行い、やはたいぬ君とふれあいました。

18日の午前は第14回甲斐市駅伝大会が敷島総合公園で行われました。秋晴れの下、参加チームが昨年と同じ27チームであり、支部、オープン、中学生の部の参加で行われました。中学生の部では13チームが参加し、各学校ごと部活動を基本として参加した選手が、精一杯頑張っていました。

午後には、甲斐市青少年育成推進大会が開催されましたが、市長と教育長は所要があった為、副市長と教育部長が出席しました。教育委員の皆様方にもご出席をいただき有難うございました。「家庭の日」と「青少年を育む日」の啓発作品の募集で、ポスターの部、作文の部、標語の部で、優秀な作品を書かれたみなさんの表彰、作文の部の最優秀作品の3人からの発表の後、敷島小学校の合唱部による「舞台発表」とジュニアリーダーの活動発表があったと報告を受けております。

19日の午後は、子どもあいさつ運動を双葉西小で行いました。

その後、定例の教育委員会課長会議を開催し、教育委員会に諮る案件の協議を行いました。

21 日の午前には、都市教育長秋季研修会が南アルプス市の伊那ヶ湖で行われましたが非常に寒かったです。研修会では、南アルプス市の担当者から「エコパ伊那ヶ湖とユネスコエコパークの取組み」について説明がありました。

その後、山梨県義務教育課の嶋崎課長より挨拶があり、樋口義務教育指導監からは学力向上について、永田課長補佐からはいじめと不登校の問題、小田切人事管理監からは服務規律の徹底と新採用教員についての話がありました。

意見交換では、私から嶋崎課長に統合型校務支援システムの導入に伴う県と市町村負担割合の見直しについて、また、県下の市町村長がこのシステムがなぜ必要なのかという共通理解と認識を持ってもらうためにも市長会と町村長会で全体での説明をしていただくことを要望しました。

22 日の午前は竜王北小で、29 日の午後は竜王西小で子どもあいさつ運動が行いました。

27 日の夜には、山梨県一周駅伝大会壮行会が行われ、市長、体協会長と出席しました。昨年甲斐市 A が念願の初優勝を飾り、連覇が期待される所々であります。甲斐市 B も 8 位以内の入賞を目指して頑張っています。市長は昨年以上の応援体制を考えているので選手も 2 連覇を目指して頑張ってもらいたい旨のあいさつを行いました。

本日の午前には 11 小学校の最後となる子どもあいさつ運動を敷島北小で行いました。教育委員各位にはそれぞれの小学校にご参加を頂き、有難うございました。午後は、ただいま定例教育委員会を開催しております。

以上、11 月の諸報告とさせていただきます。

【 現地視察 敷島小学校大規模改修工事（2 工区）・敷島総合文化会館大ホール天井耐震工事 】

○議 題

第 1 号 平成 30 年度要保護・準要保護、児童生徒の認定について

【非公開】

教育長

非公開とした議題第 1 号「平成 30 年度要保護・準要保護、児童・生徒の認定について」の審議が終わりましたので、これより公開とします。

【ここから公開】

○その他

(1) 第 55 回山梨県一周駅伝競走大会について

事務局

(資料説明)

教育長

今日の新聞を読みますと、甲斐Aの戦力が充実していると書いてありました。是非2連覇を目指して頑張ってくださいたいです。

他に何か質問等ございますか。よろしいですか。

一 同

異議なし。

(2) 12月の行事予定について

事務局

(資料説明)

教育長

12月21日に約束のさくらマンホールカード贈呈式がありますが、塩崎駅が新しくなる前、あそこには桜の木があり、双葉西小学校の子どもたちから何とかしてあの木を残してほしいと市長へお話がありました。しかし、桜の木はどうしても切らなければならず、その代わりに「塩崎駅が新しくなった時には、桜の木を植えます。そしてその時にはご招待します。」と市長は約束しました。その約束の一環として、さくらをちりばめたマンホールカードを作り、高校受験などを控えた双葉中学校の3年生へプレゼントしたいと、下水道課と協議し、12月21日に贈呈することになりました。

事務局

マンホールの蓋は構造上、「滑らない、落ちない」ものになっていますので、合格祈願にもなります。

委員

そういう意味なのですね。

委員

さくら咲けということですね。

事務局

カラーのマンホールの蓋そのものについては、下水道課の前に飾ってあります。今回のマンホールカードはそれをモチーフに作られたものです。

教育長

なにか、ご質問はありますか。よろしいですか。

一 同

異議なし。

○閉 会

事務局

本日、本定例会に付議された議案の審議を全て終了したので本定例会の閉会を宣する。

閉会時間 午後 4 時